

長浜市



医師の減少と医療サービス水準の維持向上という地域の課題に
ビデオ会議ソリューションを使って活路を見いだすべく新たなプロジェクトを展開中



滋賀県の北東部に位置する長浜市は、京都大学医学研究科と連携した「ながはま0次予防コホート事業」※を進めており、「市民の健康づくりの推進」「医学の発展への貢献」という目標を掲げ取り組んでいる。事業に参加、協力する市民の医療情報を保存、蓄積するために必要な IT プラットフォームの構築と同時に、直面している地元医師の減少と医療サービス水準の維持向上についても対応を検討し、病院と訪問看護師をビデオ会議で結ぶという新たな試みを展開。その有効性や活用の在り方を確かめるべく検証が続いている。

経緯

地域が抱える医療の課題に向き合い、打開の方策を探る 病院と現場をつなぎ、専門家と患者のコミュニケーションを支援

地域医療の拠点となる病院と訪問看護師をビデオ会議で結び、コミュニケーションやコラボレーションを支援するという今回のプロジェクトは、地元の診療所の医師たちから出てきたアイデアが基になっている。当初は病院と診療所をビデオ会議でつなぐことを想定していたが、関係者でディスカッションを重ねていくうちに課題も明らかになり、方向性は大きく変わったという。

このプロジェクトで主導的な役割を担っている京都大学 教授の黒田知宏氏は次のように話す。

「重要なのは、誰と誰がコミュニケーションするのか?という点です。例えば医師同士なら、共通の知識や理解の基盤があるので、必要なアドバイスなど最小限のやり取りで済ませることが出来ます。プロ同士のやり取りとはそういうもので、ビデオ会議まで必要なケースは意外と少なかったりします。しかし医師と患者が直接話すと、知識レベルに差がありすぎてコミュニケーションが成立しません。長浜市では医師が減っているという地域特有の事情があり、診療所に医師がいるのは週に1日だけの場合もあります。医師も看護師もない診療所にビデオ会議の機材が置いてあって、病院の医師と地域の患者が直接話しても十分な効果は得られないわけです。

そこで、医療について一定の訓練を受けたスタッフを診療所や介護施設にビデオ会議システムとペアで配置するか、看護師が各家庭を訪問するか、どちらかのモデルしかないのではないかと考えた結果、一番効果があるのは訪問看護だろうという話になったのです。

今は、バイタルサインを取るのに必要な体温計や血圧計といった基本的な機器とビデオ会議用のノートPCをセットにして看護師が家庭を訪問することを想定しており、目下取り組んでいるのはそこですね。」

黒田氏は、医療におけるITの活用、コミュニケーションの在り方を次のように考えている。

「医療とITでまず思い浮かぶのは電子カルテですが、これはリアルタイム性が求められるオフラインのコミュニケーションと言えます。家庭に医療機器を置いて脈拍などのデータを収集するのも同様です。データは瞬時に共有できますが、紙が電子化されたということであり、今までの医療モデルと実はあまり変わらないのです。

このオフラインのコミュニケーションの上に、相手の顔が直接見えるオンライン（リアルタイム）のコミュニケーションが乗ることで、情報の共有やコラボレーションが促進されるだろうという切り口で考えています。それによって、病院、診療所、家庭という3段階の連携がじわじわと可能になっていくのではないのでしょうか。」

選定

長く使い続ける基盤構築には事業として本気で取り組む姿勢が不可欠 シスコの実績、事例を評価してソリューションを採用

このプロジェクトでは、ビデオ会議システムとして Cisco TelePresence と Cisco Jabber が用いられている。シスコソリューションを採用したのは、シスコの企業としての取り組みが大きな理由だと黒田氏は話す。

※ <http://www.city.nagahama.shiga.jp/index.cfm/11,3709,96,558.html>

導入ソリューション

- ・ Cisco TelePresence シリーズ
- ・ Cisco Jabber

背景、検討事例

- ・ 地域の医師の減少に伴う医療サービス水準の維持向上という課題に、どのように対応することが望ましいか検討を重ねていた。
- ・ 病院と訪問診療（介護）の現場をリアルタイムの映像と音声で結び、専門家同士、専門家と患者のコミュニケーションを支援することの効果を見いだしたいと考えていた。



京都大学 教授
医学部附属病院 医療情報企画部長/病院長補佐
大学院医学研究科 医学専攻 医療情報学講座
大学院情報学研究所 社会情報学専攻 医療情報学講座
博士(工学)
黒田 知宏 様

滋賀県長浜市

人口 124,131 人 (平成 22 年国勢調査)
世帯 43,015 世帯 (平成 22 年国勢調査)
URL <http://www.city.nagahama.shiga.jp/>

平成 22 年 (2010 年) 1 月 1 日、旧長浜市、東浅井郡虎姫町、東浅井郡湖北町、伊香郡高月町、伊香郡木之本町、伊香郡余呉町、伊香郡西浅井町の 1 市 6 町が合併して誕生。滋賀県の北東部に位置し、北は福井県、東は岐阜県に接する。市の周囲は琵琶湖に面し、県内でも優れた自然景観を有するほか、歴史的資産も数多くあることで知られる。面積は 539.48 km² (東西約 25 km、南北約 40 km、琵琶湖を入れると 680.79 km²)。可住地面積は 164.40 km² (総面積のうち約 30.5%)。

「シスコは海外でも豊富な事例があり、国内でも北海道をはじめ各地域で実績を積み重ねています。医療分野に対する具体的なアクションを積極的に行い、ソリューションやサービスをパッケージとして提供できる体制を整えています。このように、事業として本気で取り組んでいる姿勢がはっきり見えることが一番大きかったですね。

機材のコストや機能だけで見れば、もっと安価なものがあったり、他社でも同じようなことはできたりするでしょう。しかし、このような取り組みでは 1 回モデルケースのようなことをやって、できました、すごいですね、では意味がありません。最終的には使い続けてもらうことが非常に重要で、そのためには、使われる製品、サービス、ソリューションをパッケージとして採用できるところまで整備していかなければいけません。コストとのバランスなど考えるべきことはもちろんありますが、企業側も、少なくとも事業としてやる気がないと後が続かなくなってしまうんですね。

今回のプロジェクトはまだ実験段階ですが、実際に使い始めたら誰がコストを負担し、どのように損益を捉えるのかということまで考えて議論しています。」

今後

ビデオ会議ソリューションの効果を引き出して 地方に赴いた医師もキャリアパスを確保できる環境を目指す

このプロジェクトにおけるもう 1 つのテーマは、地方に医師を派遣できる仕組みをつくることだという。そこでビデオ会議によるコミュニケーションは大きな支えになると黒田氏は考えている。「医師が地方に行くときに問題になるのは、新しい治療、専門医教育を継続的に受けることが難しくなり、自身のキャリアパス設計の柔軟性が乏しくなってしまうことです。大学病院が専門医教育のための機関であるなら、そこと地方の病院を何らかの形で結びつけて、講義、カンファレンス、手術の見学など、いろいろな形でコミュニケーションするチャンスを設けていくことが求められるでしょう。地方であっても教育の機会を奪わず、きちんとキャリアパスを描ける環境を整えるために、ビデオ会議というツールは効いてくると思っています。

実際に市立長浜病院と市立湖北病院にシステムを入れたところ、最初はカンファレンスで使うつもりだったが、意外にそのニーズがなくて、湖北病院の看護師の方々が長浜病院で行っている講演や教育コースを聴くためのツールとして定常的に使っているという結果が出てきました。そういうニーズは必ずありますし、それができる環境 (機材) が手元に来ると、それを使って何ができるかということを自然と考えられるようになっていきます。いろいろなアイデアが現場から出て広がっていくことで、長浜市の場合は最初に考えていた方向から、さまざまに枝分かれし始めています。医師がなかなか派遣されてこない、確保が難しいという問題に対して、別の角度からソリューションを提供していくことになっていきますね。現場の人が想像して、ツールの利用に積極的になることが重要で、そのきっかけを与えていくことが一番大事なのだと思います。」

※本事例は、2014 年 11 月時点での実証実験に基づくものです。

©2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R) この資料の記載内容は 2015 年 1 月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ